

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—
思考・判断：社会的な思考・判断
技能・表現：資料活用の技能・表現
知識・理解：社会的事象についての知識・理解

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)	
地(1)ア	1	(1)	三大洋のうち太平洋を指摘できる。	技能・表現 知識・理解	80.0	75.5
		(2)	世界地図上で、本初子午線を指摘できる。	知識・理解	70.0	75.2
		(3)	主な国の位置を理解するとともに、図法の特徴を踏まえ、日本よりも面積の大きな国を指摘できる。	技能・表現 知識・理解	45.0	61.7
	4	①	日本と南アフリカ共和国との時差を指摘できる。	技能・表現 知識・理解	50.0	69.7
		②	時差をもとにパラグアイの時間を計算できる。	思考・判断 技能・表現	40.0	26.9
地(2)イ	2	(1)	育てる漁業の内容を理解している。	知識・理解	65.0	31.7
		(2)	陸奥湾がホタテの養殖が盛んであることとその場所について指摘できる。	思考・判断 知識・理解	80.0	74.3
		(3)	青森県内の各地域の農業の特色を理解している。	思考・判断 知識・理解	45.0	55.2
地(1)イ	3	(1)	資料をもとに、高知県を指摘できる。	思考・判断 知識・理解	65.0	61.8
		(2)	資料から、人口の少ない都道府県についての情報を読み取ることができる。	思考・判断 技能・表現	40.0	23.6
地(2)イ	4	(1)	2万5千分の1の地形図に示された地域の様子を読み取ることができる。	技能・表現 知識・理解	65.0	46.3
		(2)	縮尺を手がかりに、地図上の長さから実際の距離を求めることができる。	技能・表現 知識・理解	40.0	52.8
地(2)ウ	5	(1)	グラフから、主な国の自動車生産台数についての変化を読み取ることができる。	思考・判断 技能・表現	50.0	56.0
		(2)	資料から、主な国の自動車に関する情報を多角的に読み取ることができる。	思考・判断 技能・表現	50.0	59.4
		(3)	各資料から、経年の変化に着目し、比較して国名を指摘することができる。	思考・判断 知識・理解	60.0	56.6
歴(1)ア	6	(1)	資料から、鑑真を指摘できる。	知識・理解 思考・判断	60.0	92.8
		(2)	資料から、安土桃山時代の作品であることを指摘できる。	知識・理解 思考・判断	60.0	41.6
		(3)	日本の時代区分の順序をそれぞれの時代に関連のある人物を通して理解している。	知識・理解 思考・判断	40.0	65.0
歴(2)ア	7	(1)	資料から、縄文時代の生活の様子を指摘できる。	思考・判断 知識・理解	65.0	82.6
		(2)	資料から、黄河文明を指摘できる。	思考・判断 知識・理解	60.0	66.3
歴(2)イ	8	(1)	資料から、卑弥呼を指摘できる。	思考・判断 知識・理解	80.0	89.9
		(2)	地図を読み取り、卑弥呼が活躍した時代の東アジア諸国について指摘できる。	思考・判断 知識・理解	50.0	52.1
歴(2)ウ	9	(1)	新聞形式の資料から、平安時代に起こった出来事の内容について理解している。	知識・理解 思考・判断	55.0	54.9
歴(2)エ		(2)	平安時代の建造物として平等院鳳凰堂を指摘できる。	知識・理解	65.0	59.8
歴(2)ウ		(3)	新聞形式の記事の内容から、国風文化を指摘できる。	思考・判断 知識・理解	60.0	59.1
	(4)	系図から藤原氏が勢力を伸ばすために行ったことを読み取ることができる。	思考・判断 技能・表現	45.0	68.9	
歴(3)ア	10	(1)	坂上田村麻呂、源頼朝、足利尊氏の3人に共通する役職名を指摘できる。	知識・理解 思考・判断	40.0	66.0
		(2)	資料である勘合符が日明貿易で使われたことを指摘できる。	知識・理解 思考・判断	55.0	54.7
歴(4)ア	10	(3)	資料から、分国法について指摘できる。	知識・理解 思考・判断	40.0	27.6
歴(4)イ		(4)	資料から、豊臣秀吉の政策について指摘できる。	知識・理解 思考・判断	70.0	68.0

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東 青 管 内			西 北 管 内					
				青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡		
1	(1)	太平洋の指摘	80.0	80.1	79.8	83.6	69.5	67.0	68.8	72.4	
	(2)	本初子午線の名称	70.0	81.6	81.8	79.1	68.0	65.0	56.6	76.9	
	(3)	日本より面積の大きな国の指摘	45.0	63.3	63.7	57.2	61.0	60.5	58.6	62.9	
	(4)	①	日本と南アの二国間の時差の指摘	50.0	74.9	75.0	74.1	72.5	71.5	59.9	80.1
		②	パラグアイの時間の計算	40.0	35.0	35.2	32.3	25.0	24.4	18.1	29.1
2	(1)	育てる漁業の内容	65.0	29.7	30.4	19.7	34.2	36.0	25.7	37.0	
	(2)	ホタテ養殖が盛んな陸奥湾の指摘	80.0	82.1	81.5	90.0	68.5	68.0	63.2	71.9	
	(3)	青森県の農業の地域的特色の理解	45.0	51.9	51.6	55.2	55.1	53.4	56.3	56.1	
3	(1)	高知県の指摘	65.0	61.7	61.6	63.7	60.3	60.3	55.9	62.6	
	(2)	人口に関する資料の読取	40.0	27.6	27.7	25.4	21.2	23.9	18.1	20.3	
4	(1)	地形図から地域の様子の読取	65.0	52.0	52.4	47.3	39.0	36.0	41.1	40.9	
	(2)	地形図上の長さから実際の距離を求める	40.0	56.7	56.6	58.2	47.3	51.1	33.2	51.0	
5	(1)	世界の自動車生産台数の推移の読取	50.0	57.8	58.4	49.8	55.6	59.9	49.7	54.4	
	(2)	世界の自動車に関する資料の読取	50.0	60.8	61.1	57.2	59.0	59.6	56.3	59.8	
	(3)	自動車生産台数が急速に伸びた国の指摘	60.0	58.5	58.8	54.7	55.4	55.9	57.2	53.9	
6	(1)	鑑真の指摘	60.0	93.4	93.4	94.0	92.1	91.0	89.1	94.8	
	(2)	安土桃山時代の作品の指摘	60.0	50.9	51.5	43.8	33.7	38.3	35.2	28.4	
	(3)	各時代の外国に渡航した人物の理解	40.0	69.5	69.4	70.6	61.0	59.8	58.6	63.6	
7	(1)	縄文時代の生活の特色	65.0	85.7	85.9	82.6	79.4	78.4	82.6	78.9	
	(2)	黄河文明の指摘	60.0	70.4	70.3	71.1	57.9	58.7	54.6	58.8	
8	(1)	邪馬台国に活躍した人物の名称	80.0	91.0	91.0	91.5	87.7	85.6	84.2	91.7	
	(2)	弥生時代の東アジア諸国の様子	50.0	57.3	56.9	63.2	47.5	45.7	42.8	51.8	
9	(1)	平安時代の特色についての理解	55.0	61.6	61.7	61.2	44.6	45.0	35.9	48.9	
	(2)	平安時代を代表する建造物の名称	65.0	60.2	60.7	52.7	60.1	58.2	57.6	63.3	
	(3)	国風文化の指摘	60.0	68.7	68.7	69.2	42.7	43.9	37.8	44.0	
	(4)	藤原氏が勢力をもった要因	45.0	75.5	75.9	70.6	68.8	53.3	70.4	83.4	
10	(1)	3人に共通する役職名の指摘	40.0	70.0	70.0	70.1	57.9	57.3	53.9	60.7	
	(2)	勘合符から日明貿易を指摘	55.0	62.1	62.0	62.2	41.2	44.3	38.8	39.5	
	(3)	戦国時代の分国法の指摘	40.0	35.9	35.6	39.8	19.9	25.8	11.5	18.5	
	(4)	豊臣秀吉が行った代表的な政策	70.0	70.4	70.1	74.6	58.3	62.0	57.6	54.9	
教 科 全 体			56.3	63.2	63.3	62.3	54.8	54.7	51.0	57.0	

(単位：%)

中 南 管 内					上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内			県全体
弘前市	黒石市	平川市	中・南郡		十和田市	三沢市	上北郡		むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡		
75.3	76.2	75.2	76.6	69.9	71.5	77.1	71.6	67.7	68.3	68.4	68.0	78.8	79.0	78.1	75.5
75.5	74.9	85.9	63.6	77.5	77.1	81.6	75.1	75.1	62.3	64.1	55.6	74.3	75.9	69.0	75.2
61.0	62.9	58.3	54.8	61.6	59.7	61.5	59.1	58.8	54.8	53.9	58.2	64.5	65.2	62.1	61.7
70.7	71.8	75.7	65.1	64.6	67.5	71.5	65.6	65.7	56.7	58.2	51.0	67.3	67.9	65.2	69.7
26.1	28.2	26.9	19.9	20.9	24.8	27.0	25.6	22.9	15.1	15.6	13.1	25.3	26.0	23.2	26.9
31.9	33.2	11.0	39.3	45.0	25.3	33.7	24.7	20.0	22.5	25.3	11.8	39.6	41.8	33.1	31.7
65.2	65.8	71.1	58.6	61.6	76.2	76.3	68.1	80.1	81.5	82.7	77.1	74.6	74.4	75.3	74.3
61.2	64.4	56.3	59.8	53.3	56.9	63.8	49.5	56.1	43.6	42.7	47.1	55.1	52.7	62.2	55.2
58.5	56.0	61.4	63.6	61.6	60.6	64.1	59.3	59.0	61.7	62.4	58.8	66.1	65.5	68.2	61.8
21.9	23.8	23.8	17.1	16.9	24.2	26.4	24.1	22.8	18.1	19.6	12.4	23.2	24.2	20.1	23.6
47.8	49.3	46.0	40.5	50.3	44.1	46.7	41.4	43.6	37.8	38.1	36.6	47.0	46.5	48.6	46.3
54.7	56.3	58.8	43.3	53.3	49.8	58.8	51.0	43.2	50.1	53.1	38.6	53.0	50.9	60.3	52.8
54.7	55.0	51.9	57.9	53.6	55.4	58.7	57.1	52.4	52.9	54.1	48.4	56.7	57.2	55.0	56.0
59.2	60.4	57.3	59.8	56.3	58.8	63.4	59.2	55.4	59.0	62.2	46.4	59.0	59.0	58.8	59.4
54.0	53.7	52.9	53.3	57.0	57.5	63.1	56.6	54.0	52.9	53.2	51.6	57.9	58.4	56.1	56.6
92.7	92.9	93.9	90.3	92.4	93.1	93.3	93.9	92.6	88.1	88.4	86.9	93.4	94.0	91.3	92.8
40.4	43.1	36.3	35.5	37.7	36.9	40.5	33.5	36.2	36.6	39.5	25.5	42.4	45.1	33.3	41.6
59.8	59.5	57.8	60.7	62.3	64.5	66.8	66.3	62.1	64.1	64.6	62.1	67.8	68.2	66.6	65.0
81.5	82.4	81.8	79.8	78.1	83.1	83.0	81.8	83.7	77.9	77.6	79.1	82.9	82.5	84.1	82.6
65.0	65.4	68.5	62.3	61.3	65.0	69.0	65.9	61.9	66.4	67.3	62.7	68.7	68.5	69.6	66.3
88.2	87.9	88.0	89.1	89.1	90.3	91.7	88.4	90.2	87.4	88.4	83.7	91.6	92.1	90.1	89.9
50.4	51.1	52.4	46.1	49.0	51.6	54.5	53.2	49.0	51.7	52.4	49.0	51.6	53.0	46.6	52.1
53.5	53.3	53.5	54.2	54.0	52.0	50.2	48.1	55.0	54.5	56.5	47.1	56.8	56.8	57.1	54.9
56.3	56.0	55.8	62.9	51.7	61.0	57.7	66.3	60.6	62.8	63.3	60.8	60.7	60.8	60.4	59.8
54.6	52.9	62.4	52.3	55.0	59.5	57.9	55.8	62.3	56.0	59.7	41.8	62.6	63.3	60.4	59.1
60.3	57.1	68.3	72.3	52.6	66.7	80.9	33.0	73.5	69.6	69.7	69.3	71.5	71.3	72.3	68.9
61.9	62.1	60.4	62.0	62.9	65.1	65.2	69.8	62.8	61.3	63.1	54.2	71.4	72.9	66.0	66.0
52.3	51.1	57.5	52.3	51.7	52.6	52.9	49.2	54.0	47.8	50.7	36.6	59.6	60.2	57.3	54.7
26.2	28.7	27.1	19.9	19.2	22.7	27.2	23.2	19.5	20.5	22.3	13.7	30.1	31.0	27.1	27.6
65.4	64.1	69.1	64.5	67.9	70.4	74.7	68.1	68.7	66.3	67.2	62.7	71.6	73.3	65.8	68.0
57.7	58.2	58.2	55.9	56.3	58.1	61.3	56.1	57.0	54.9	56.1	50.3	60.9	61.3	59.4	59.2

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各内容・領域の 通過率(%)	設定通過率 (%)
世界と日本の 地域構成	7	1(1)、1(2)、 1(4)①	1(4)②、3(2)	56.4	55.7
地域の規模に 応じた調査	8	2(2)	2(1)、4(1)、 4(2)	54.0	56.9
歴史の流れと 地域の歴史	3	6(1)	6(2)	66.5	53.3
古代までの 日本	8	7(1)、7(2)、 8(1)、9(4)	8(2)、9(1)	66.7	60.0
中世の日本	2		10(2)	60.3	47.5
近世の日本	2	10(4)	10(3)	47.8	55.0

内容・領域別にみると、県の平均通過率と比較して通過率が高かったのは、「歴史の流れと地域の歴史」、「古代までの日本」である。同程度だったのは、「世界と日本の地域構成」、「中世の日本」であり、通過率が低かったのは、「地域の規模に応じた調査」、「近世の日本」である。

設定通過率と比較すると、これを上回ったのは、「歴史の流れと地域の歴史」、「古代までの日本」、「中世の日本」である。同程度だったのは、「世界と日本の地域構成」、「地域の規模に応じた調査」であり、下回ったのは、「近世の日本」である。

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題(10問)	通過率の低かった 問題(10問)	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断	22	2(2)、6(1)、 7(1)、7(2)、 8(1)、9(4)、 10(4)	1(4)②、3(2)、 6(2)、8(2)、 9(1)、10(2)、 10(3)	59.3	55.0
資料活用の 技能・表現	10	1(1)、1(4)①、 9(4)	1(4)②、3(2)、 4(1)、4(2)	54.1	50.5
社会的事象 についての 知識・理解	25	1(1)、1(2)、 1(4)①、2(2)、 6(1)、7(1)、 7(2)、8(1)、 10(4)	2(1)、4(1)、 4(2)、6(2)、 8(2)、9(1)、 10(2)、10(3)	61.7	58.6

(※表記されている問題の番号については観点が重複しているものがある。)

観点別にみると、県の平均通過率と比較して、同程度だったのは、「社会的な思考・判断」、「社会的事象についての知識・理解」であり、通過率が低かったのは、「資料活用の技能・表現」である。

設定通過率と比較すると、すべての観点が同程度であった。

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	設定通過率(%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)	
1	(4)②	26.9	40.0	無答(13.5)、6月29日午後4時(8.5)、6月29日午後6時(3.0)
2	(1)	31.7	65.0	無答(20.8)、養殖(10.7)、沖合(6.6)、沿岸(5.6)、放流(3.6)
3	(2)	23.6	40.0	ア(41.0)、ウ(16.5)、イ(15.0)
4	(1)	46.3	65.0	ア(28.5)、イ(15.0)、エ(5.0)、無答(1.0)
6	(2)	41.6	60.0	室町(19.5)、平安(11.5)、鎌倉(10.0)、江戸(6.5)、無答(3.5)
10	(3)	27.6	40.0	武家諸法度(26.0)、無答(19.5)、御成敗式目(5.0)

- 1(4)②について
誤答の原因として、時差を導くための段階的な理解が不十分であることが考えられる。
- 2(1)について
誤答の原因として、育てる漁業には養殖漁業と栽培漁業があることが理解されていないことが考えられる。
- 3(2)について
誤答の原因として、表の数値の見方が不十分であることが考えられる。
- 4(1)について
誤答の原因として、県立美術館の所在地から見た博物館の地図記号の方位の理解が不十分であることが考えられる。
- 6(2)について
誤答の原因として、安土桃山時代の代表的な作品の理解が不十分であることが考えられる。
- 10(3)について
誤答の原因として、戦国時代の領国支配に関連する「分国法」についての理解が不十分であることが考えられる。

カ 今後の指導について

(1) 地理的分野の指導事例について

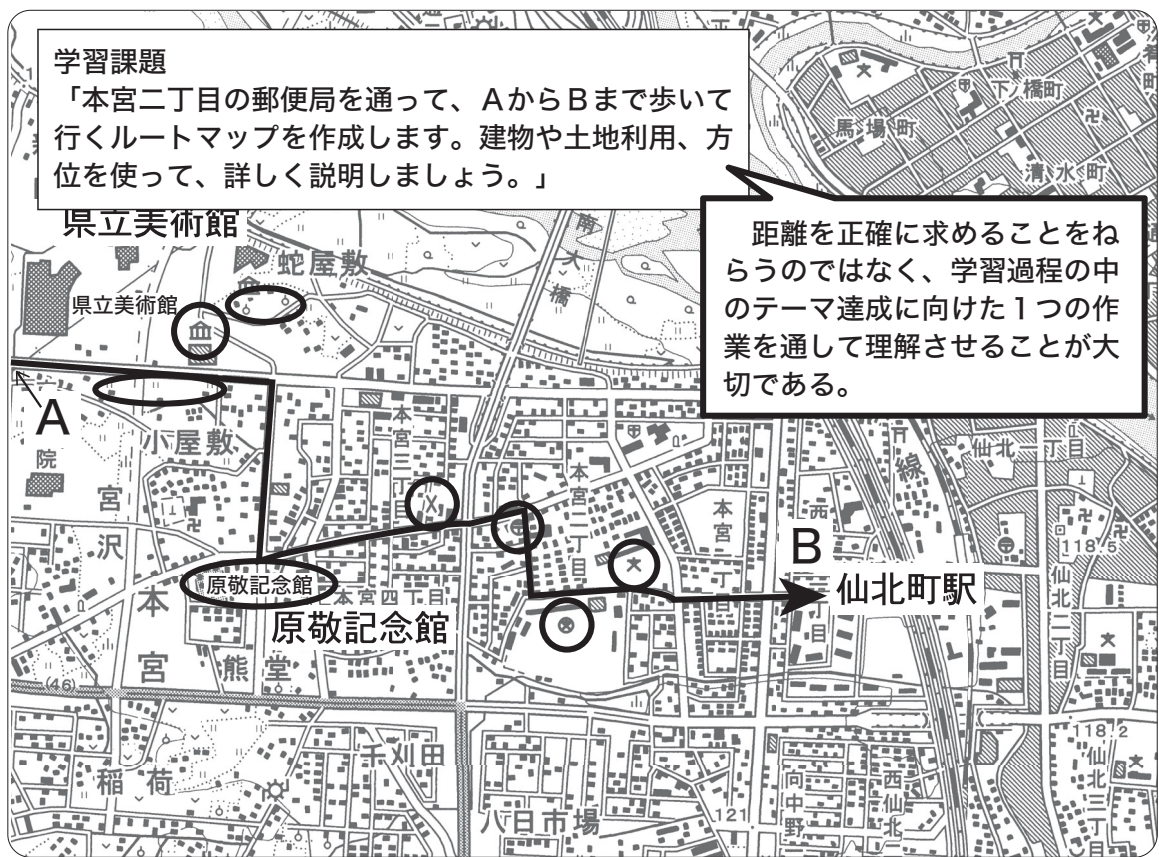
指導例

1. 指導のねらい

身近な地域が含まれる大縮尺の地図を活用し、生徒の日常生活と関連させながら、距離に関する課題を設定し、生徒の興味や関心を高めながら作業的な学習を行うように工夫する。

2. 地形図の読み取り〈地図の活用〉

「調べるテーマを設定して、地形図を読み取る視点を明確にし、効果的に地図を活用する」
問題資料を活用した授業例〈指導用に実際の25000分の1の地形図を拡大しています〉











学習課題

「本宮二丁目の郵便局を通過して、AからBまで歩いて行くルートマップを作成します。建物や土地利用、方位を使って、詳しく説明しましょう。」

距離を正確に求めることをねらうのではなく、学習過程の中のテーマ達成に向けた1つの作業を通して理解させることが大切である。

- (1) AからBのルートに従って、地形図の地図記号から建物や土地利用、方位を調べます。
 - (2) 目印になる地図記号に方位をイメージしながらルートの紹介文を作成します。
- [16方位の指導]
- (3) 作成した紹介文を発表します。

「A-B」のコースは、「県立美術館」から「仙北町駅」へ向かう2.5kmのコースです。出発地点Aから東に進み「博物館」を北に、水田を南側の道路沿いに見ながら歩いて行きます。北に果樹園が見えたところで「原敬記念館」を目指して南に曲がり、400m行ったところで、東北東に向きを変えて歩きました。少し行くと北に交番がありました。さらに郵便局のある交差点を南に曲がり直進すると高等学校がありました。もう少し東へ行ったところに小学校（小・中学校）があり、そのまま「仙北町駅」に向かって東に進んで行くとB地点に到着しました。

(2) 歴史的分野の指導例

各時代の特色をとらえる学習の指導例

来年度からの新学習指導要領の全面実施に向けて、新学習指導要領では、歴史的分野の目標として「我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ」と記している。各時代の特色をとらえることが、「我が国の歴史の大きな流れ」の理解のために欠かせないものとなっている。

それを受けて、各時代の特色をとらえる学習が設けられている。また、各時代の特色をとらえる学習は、各時代のまとめとして実施することを原則としている。

【 中世の日本 】の学習 (写真資料：東京書籍)

① 「中世を資料から説明してみよう」

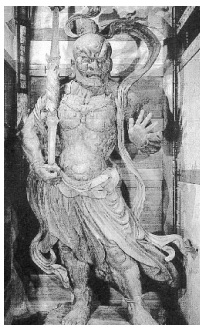
ア 中世を最もイメージした資料を、教科書や資料集等から1つ選ばせる。

※ 資料から読み取れる歴史的背景について考えさせる。

イ 選んだ資料に合わせて、その時代を説明する文章を考えさせて、自分の言葉で書かせる。

※ 展開の方法として、同じ資料を選んだ生徒同士で意見交換をさせてから、個人でまとめさせる方法もある。

(資料例) A



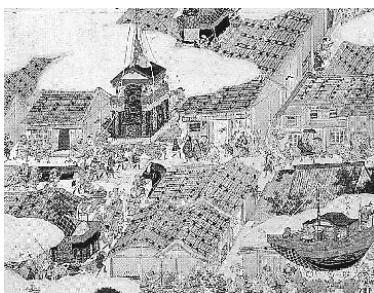
B



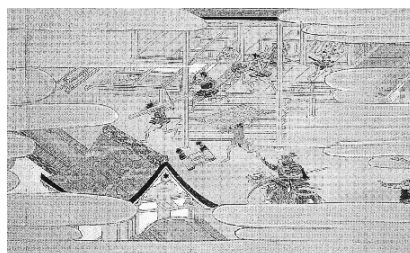
C



D



E



F



(まとめの例)

A 「中世は、武士の時代」

中世は、武士の力が強くなった時代である。武士は、力強いものを好むので、この写真に見られるような、筋肉が盛り上がるような力強い仏像をたくさんつくらせた。

また、この時代は、仏教でも新しい宗派が次々と生まれ、力をつけてきた武士や民衆の間に広まっていった。

評価の観点別にみた課題として、「社会的な思考・判断」については、新聞・テレビなど普段の生活から社会的事象に目を向けさせ、関心を高めさせるとともに、学習課題に対し多面的・多角的にとらえる能力の伸長や自分の考えを持てるようにすることが挙げられる。今後の学習指導においては、課題解決のために有効な事実や資料等を提示し、まず個人の予想や考えをもとに、グループ等による話し合い活動や練り合いを通し、多様な意見に触れさせ、さらに個々の思考を整理させるなどの段階に応じた場面を設定し活動することが大切である。

「資料活用の技能・表現」の課題としては、統計資料の読み取りや読図を通して社会的事象の認識ができるよう、基礎的・基本的な技能を身に付けさせ、さらに読み取ったことから、自分の考えを入れたまとめをし、発表する力を育成することが挙げられる。今後の学習指導においては、地図や地球儀、写真や統計資料等の情報を読み取ったり、活用する場の設定をしたりして、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習などを通して、社会的な見方や考え方の育成に努めることが必要である。

「社会的事象についての知識・理解」の課題としては、各観点との関連を図り、身に付けた

知識や概念をその後の学習や生活に活用できるようにすることが挙げられる。今後の学習指導においては、作業的、体験的な活動を学習過程の中に適切に位置付け、習得した知識や技能を活用したり、自己決定の場を設けたりする授業の展開を行うことが大切である。

個々の問題の誤答傾向から見た課題として、地理的分野においては、大縮尺の地形図の読図能力と統計資料等の活用能力の伸長が挙げられる。今後の学習指導においては、「身近な地域の調査」における実際の距離の求め方や方位、地図記号、等高線、土地利用等に関する基本的事項について実感を伴って理解できるような指導の工夫が大切である。また、諸資料の読み取りや解釈について、統計のグラフ化や地図化などの作業を通して地域の課題を見出し、考察するかたちで、活用の技能を高めさせることが必要である。

歴史的分野においては、各時代の生活や文化等の特色を理解させ、歴史の大きな流れをとらえる活動の充実が挙げられる。今後の学習指導においては、学習した内容を活用して大観し表現する活動を通して、その時代がどのような特色を持つ時代だったのかをとらえさせたり、他の時代との相違点や共通点を明らかにしたり、それらを関連付けて理解させたりすることが大切である。

設定通過率との比較からみた課題としては、資料からの読み取りと基礎的・基本的な内容の定着が挙げられる。地理的分野において、15ポイント以上設定通過率を下回った小問が3問ある。

- ① 育てる漁業の「栽培漁業」を問う問題。
- ② 資料から人口の少ない都道府県についての情報を読み取る問題。
- ③ 2万5千分の1の地形図に示された地域の様子を読み取る問題。

であり、設定通過率が40.0%～65.0%であるのに対して、通過率は23.6%～46.3%であった。

①は、分析の結果から、育てる漁業には養殖漁業と栽培漁業があることが十分に定着していないことが考えられる。②は、資料の数値の見方で、実数（人）なのか割合（%）なのかが十分に理解されていないことが考えられる。③は、地形図の読み取りの基本的な知識や技能が習得されていないことが考えられる。今後の学習指導において、地理的分野では、現地に即した資料を活用し、地域的特色という観点から、多面的・多角的に分析、考察、グラフ化、地図化等をして、自分の言葉でまとめさせる活動の展開が大切である。

質問紙調査の結果によると、「社会の勉強が好きだ」と答えた生徒（質問に「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた生徒）の割合は61.5%と理科に次いで高かった。また、「社会科の勉強は大切だ」と答えた生徒の割合は、74.0%と国語、数学、英語の次であった。さらに、「社会の授業がどの程度分かるか」では、「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた生徒の割合が59.0%と国語に次いで高かった。生徒の興味・関心を高めるための教材研究や「分かる授業」の実践が重要である。

キ まとめ

内容・領域別では、歴史的分野の「歴史の流れと地域の歴史」、「古代までの日本」が良好であり、一方、歴史的分野の「近世の日本」で不十分な点がみられる。また、評価の観点別では、三つの観点すべてが設定通過率と同程度であった。さらに、小問ごとでは、地理的分野において、人口の少ない都道府県の資料から、多面的に読み取る内容についての把握ができていない点がみられた。

今後の指導においては、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るとともに、地図や地球儀、写真や統計資料等の情報を読み取るなどの、作業的、体験的な活動を学習過程の中に位置付けることが重要である。また、習得した基礎的・基本的な知識や技能等を活用して、学習課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成に努めることが大切である。さらに、学習課題に対し自分の考えを持ち、その考えを解釈、説明、論述するなどの言語活動の充実や自己決定する場を設定することが大切である。